

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会
募金・協賛推進特別委員会第 13 回会議 次第

日 時：令和 6 年 3 月 21 日(木)

10:00～11:00

場 所：滋賀県農業教育情報センター
4 階 第 4 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和 5 年度取組実績について【資料 1】

4 審議事項

(1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和 6 年度取組計画(案)について【資料 2】

5 閉 会

国スポ開催まであと 556日 障スポ開催まであと 583日

配 席 図

記
者
席

傍
聴
者
席

傍
聴
者
席

出入口

出入口

藤原 委員◎ ◎上村 副委員長

廣瀬 委員◎

山口 委員◎

中嶋 委員◎

◎坂本 委員

◎片山 委員

事務局 事務局

事務局 事務局

「募金・協賛推進特別委員会」委員名簿（新旧対照）

分 野	所属団体・役職名	旧委員名	新委員名
経済社会	滋賀経済団体連合会参与 (滋賀県商工会議所連合会専務理事)	廣瀬 年昭	(同左)
	滋賀県地域女性団体連合会会長	上村 照代	(同左)
	公益財団法人淡海文化振興財団 常務理事兼事務局長	南 圭子	(同左)
	滋賀県青年団体連合会主事	坂本 陽子	(同左)
有識者	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー	戸田 由美	(同左)
マスコミ	びわ湖放送株式会社放送管理局長兼制作部長	山口 秀富美	(同左)
スポーツ	公益財団法人滋賀県スポーツ協会事務局長	片山 彰一	(同左)
	一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会 専務理事兼事務局長	中嶋 義基	(同左)
行政	滋賀県文化スポーツ部次長	東郷 寛彦	藤原 久美子

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和5年度取組実績

1 寄附の実績（R 6. 3.14 時点 申込済）

令和5年度実績 83,112,489 円

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	26 件	9,935,000 円	
企業・団体	59 件	72,028,415 円	
イベント等	14 件	29,732 円	イベント等での募金
据置き募金箱	—	278,480 円	
募金グッズ	—	322,912 円	ぬいぐるみ・ピンバッジセット 90 個 (1,500 円) ぬいぐるみ単品 86 個 (1,400 円) ピンバッジ 333 個 (200 円) LINE スタンプ 4,704 円
その他	2 件	517,950 円	びわ湖マラソン 2024 (チャリティーランナー) 他
計	101 件	83,112,489 円	(使途) 競技力向上 46,209,489 円 施設整備 30,600,000 円 大会運営 6,303,000 円

<参考>

年度	平成 26 平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	計
件数	80 件	75 件	112 件	57 件	59 件	239 件	174 件	147 件	101 件	1044 件
寄附 金額	31,066 千円	23,320 千円	30,424 千円	59,362 千円	45,714 千円	36,404 千円	35,483 千円	142,194 千円	83,112 千円	487,079 千円

2 企業協賛の実績（R 5. 3. 14 時点 契約済）

令和5年度実績（契約金額） 132,657,820円（協賛金 80,310,000円、物品 52,347,820円相当）

【参考】令和4年実績（契約金額） 21,441,000円（協賛金 21,100,000円、物品 341,000円相当）

カテゴリー	(R5 年度) 企業・団体数	(R5 年度) 企業・団体名	【参考】 (R4 年度) 企業・ 団体数
JAPANGAMES パートナー (協賛金)	5	積水化学工業(株) 綾羽(株)、(株)村田製作所、東レ(株) ヤンマーホールディングス(株)	2
オフィシャル スポンサー (協賛金)	4	大和証券(株)、甲賀高分子(株) 西日本電信電話(株)、(株)堀場製作所	0
オフィシャル サポーター (協賛金)	7	(株)市金工業社、(一社)滋賀県建設業協会、 (株)三東工業社、滋賀県信用保証協会、 (株)たねや、(株)PRO-SEED、生活協同組合コープしが	1
大会協力企業 (協賛金)	8	(一社)滋賀県警備業協会、近江鍛工(株) 元三フード(株)、(株)中広、(株)山正、 滋賀県スポーツ用品(協組)、(株)誠進堂、 高木メリヤス(株)	1
オフィシャル サプライヤー (協賛物品)	23	(株)あいコムこうか、(株)ZTV、 東近江ケーブルネットワーク(株)、 (株)滋賀トヨタ、トヨタモビリティ滋賀(株)、 トヨタカローラ滋賀(株)、ネッツトヨタびわこ(株)、 滋賀日産自動車(株)、日産プリンス滋賀販売(株)、 滋賀ダイハツ販売(株)、(株)京滋マツダ、 滋賀三菱自動車販売(株)、滋賀スバル自動車(株)、 (株)スズキ自販滋賀、(株)ホンダオートフクナガ、 滋賀ホンダ販売(株)、ホンダ販売フタバ(株)、 (株)ホンダクリオ滋賀、(株)ワイスリー企画、 (株)京都新聞ホールディングス、(株)ZONE、 (株)アスタリスク、全国マツダ労働組合連合会	0
大会協力企業 (協賛物品)	5	(株)ルイ高、(一社)滋賀県造園協会、 ニッポンレンタカー関西(株)、(株)activo、 (株)ファミリーマート	2
計	52 協賛金 : 24 協賛物品 : 28		6 協賛金 : 4 協賛物品 : 2

3 主な取組

(1) 個人向け取組（寄附）

- ① イベント会場等での募金活動の実施
14のイベントにおいて、会場等での募金活動を実施。（令和6年3月10日時点）

<募金活動を行った主なイベント>

- ・イナズマフード GP (5/24)
- ・マキヒカカップ in 滋賀 (8/12)
- ・バスの日まつり in びわこ (9/2)
- ・あれこれスポーツ体験フェスタ(9/30)
- ・BKC ウエルカムデー (11/4)
- ・野洲川ファミリーマラソン (3/3) 等

募金の促進を図るため、引き続き、寄附返礼グッズとして、大会マスコットキャラクターをデザインした缶バッジを寄附返礼グッズとして活用。

また、楽しみながら募金していただけるよう、新たにカプセルトイを導入した。

イナズマフード GP



カプセルトイ



② 寄附付商品の販売

大会マスコットキャラクターを活用した募金グッズ（ぬいぐるみ、ピンバッジ）について、事務局による直接販売（事務局執務室、イベント、郵送）および滋賀県職員生活協同組合（県内9店舗）・スポーツショップキムラ（県内3店舗）、薬局（県内7店舗）での委託販売を実施した。また、大会マスコットキャラクターを活用したLINEスタンプの販売を実施した。

③ 募金箱の設置箇所の拡大

県内の民間スポーツ施設の他、民間企業の営業所等に募金箱設置の協力を依頼し、設置した。

- ・令和5年度末募金箱設置箇所 272 箇所 （令和4年度比：24 箇所増）

④ スポーツイベント等とのタイアップの実施

「びわ湖マラソン2024」でのチャリティーランナーの募集において参加料の一部（1口500円）を寄附いただいた。

- ・令和5年度 558 口 （令和4年度比：216 口増）

⑤ ふるさと納税ポータルサイト「滋賀応援寄附」による寄附の受入れ

滋賀応援寄附（ふるさと納税）の寄附メニューに位置付け、受入れを行った。

(2) 企業・団体向け取組（寄附・企業協賛）

寄附および企業協賛（令和4年8月より開始）について、次の取組を実施した。

- ・県内経済団体等の会合の場を活用した呼びかけ

- ・個別企業への訪問等による依頼

3月14日末時点で、135件の企業・団体に依頼

※寄附・企業協賛の依頼と併せて、ポスター掲出、社用車ラッピング、ネックストラップ着用などの広報・啓発への協力依頼も実施

<物品協賛の事例>

- ・県内15社の自動車販売株式会社からの車両貸与 計20台
- ・テレビ、新聞、雑誌、サイネージ、ポータルサイトの広告枠
- ・その他、木製ベンチなど

協賛車両



雑誌の広告枠



(3) 謝意表明および企業協賛特典の実施

① 寄附

- ・寄附に対する感謝状贈呈式を行った。
 - ・寄附者銘板（10万円以上の寄附が対象）を平和堂 HATO スタジアムメインエントランスに設置し、お披露目を行った。
- ※銘板には、信楽製の陶板を使用

感謝状贈呈式



寄附者銘板およびお披露目（R5.5.13）



② 企業協賛

- ・企業協賛に対する感謝状贈呈式や協賛物品のお披露目を行った。
- ・企業協賛に係る特典として、大会HPをはじめ広報誌等への企業名やロゴの掲載などを行った。

協賛物品のお披露目・感謝状贈呈



大会HPでの協賛企業の掲出



（4）寄附・企業協賛制度についての情報発信

国スポ・障スポの寄附・企業協賛の制度についての認知を広め、個人や企業等による寄附や企業協賛の機運を高めるため、上記（1）（2）の取組とともに、次のような取組により情報発信を行った。

- ・寄附、企業協賛に係る感謝状贈呈などを大会HP・SNS等に掲載
- ・大会広報誌「シャイン!!」第5号（令和5年9月発行）および第6号（令和6年3月発行）において協賛企業ロゴを掲載

（発行数）地域みっちゃん生活情報誌（県内全戸配布）：各号 約46万部

新聞折込：各号 約5.3万部

※同広報誌のスマートフォン（ウェブ）版、音声版および点字版で、募金グッズの紹介、協賛企業のロゴを掲載

- ・大会広報用リーフレットを活用した情報発信

内容：「グッズを買って、わたSHIGA輝く国スポ・障スポを応援しよう！」

「寄附と企業協賛のお願い」

媒体：紙面（10,000部作成し、県立施設等に設置。）

（5）寄附金・協賛金等を活用した事業展開

- ① 寄附金について、次の事業に充当した。

- ・次世代アスリート発掘育成プロジェクト：充当額 200万円

滋賀県内の小学校5年生を対象に運動能力テストを行い、約40名を選考。「滋賀レイキッズ」として「食育プログラム」や「競技体験プログラム」などの育成プログラムを実施し、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成

- ・競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援）：充当額 100万円
　　全国障害者スポーツ大会等の全国大会において優秀な成績を収めるとともに、恒常的な競技力向上体制の整備、充実、発展を目的として、各競技団体への支援を実施
 - ・ターゲットエイジ重点強化事業：充当額 300万円
　　わた SHIGA 輝く国スポ大会時に少年種別の主力となる年代の選手をターゲットエイジ強化選手として指定し、指定証やTシャツを配布するとともに、各競技団体の強化事業の支援を実施
 - ・県営金亀公園（平和堂HATOスタジアム）整備事業：充当額 1,500万円
　　国スポ・障スポ大会の開・閉会式および陸上競技の会場となる県営金亀公園（平和堂HATOスタジアム）の整備を実施
- ② 協賛金について、次の事業を実施した。
- ・広報誌「シャイン!!」第6号（令和6年3月発行）作成： 1,160万円

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和6年度取組計画（案）

令和6年度は、大会マスコットキャラクターを用いた寄附付商品販売や企業・団体への寄附・企業協賛の依頼等の取組をより一層強化していく。

1 個人向け取組（寄附）

開催1年前イベントなど、大会開催の周知に向けた広報活動と連携して、幅広い世代を対象とした寄附募集の周知と活動機会の充実を図る。

（1）寄附付商品販売の促進

大会マスコットキャラクターを用いた募金グッズについて、現在販売しているぬいぐるみ、ピンバッジの他、新たなグッズを作成し、寄附付商品の拡充を図る。

販売に当たっては、引き続き、事務局による直接販売を行うとともに、委託販売先の拡大を図る。また、イベントなどへの出張販売も実施することにより、大会に向けた機運醸成につなげていく。

募金グッズ



（2）イベント会場等での募金活動の実施

イベントでのブース出展等や着ぐるみの出役に合わせ、寄附返礼グッズやカプセルトイ等を活用した募金活動を実施する。

出張販売



（3）ふるさと納税ポータルサイトを利用した寄附の受け入れ

気軽に寄附できる手法として、引き続き「滋賀応援寄附」のメニューに位置付け、ふるさと納税ポータルサイトを通じた寄附の受け入れを行う。

滋賀応援寄附（県 HP）



(4) 募金箱の設置箇所の拡大

引き続き、県立・市町立のスポーツ施設・文化施設の他、民間施設への設置協力を働きかける。

アクリル製募金箱



(5) スポーツイベント等とのタイアップの実施

びわ湖マラソンにおいてチャリティーランナーを募集するとともに、新たなタイアップイベント等を検討する。

びわ湖マラソンチラシ



2 企業向け取組（寄附・企業協賛）

引き続き、県庁内関係所属と連携し、多くの企業が参画する経済団体・各種団体の会合の場を活用した呼びかけ、企業訪問による依頼を行う。

依頼に当たっては、両大会の準備状況や寄附・企業協賛のメリット（企業イメージの向上、税制優遇措置など）、活用用途等の説明のほか、県外企業へ向けては、企業版ふるさと納税制度の活用も提案していく。

募集パンフレット



3 謝意表明の実施

(1) 寄附

- ・感謝状贈呈式等の実施。
- ・寄附者銘板による謝意表明。

(2) 企業協賛

- ・感謝状贈呈式等の実施。
- ・企業協賛に係る特典として、大会HPをはじめ広報誌等への企業名やロゴの掲載。

大会広報誌での協賛企業の掲出



4 寄附・企業協賛制度の情報発信

個人や企業・団体を問わず、寄附や企業協賛制度についての認知していただき、寄附・企業協賛の機運を高めるため、引き続き、次のような取組による情報発信を行う。

- ・大会HPでの寄附・企業協賛に係る情報の発信
 - ・大会SNS（X、Instagram）による寄附・企業協賛募集の情報発信
 - ・企業向け寄附・企業協賛募集パンフレットの配布
 - ・大会広報誌における寄附・企業協賛にかかる記事の掲載
 - ・感謝状贈呈式に係る報道機関へ資料提供、大会HP・SNS等への掲載

Instagramでの感謝状 贈呈の情報発信



滋賀県立農業大学校
わたSHIGA くらし開拓人材育成事業
2025

いいね！: [kokaninja_kokusupo](#)、他
2025shiga【伊藤忠商事株式会社様に感謝状を贈呈】
伊藤忠商事株式会社様からいただいた「わた SHIGA 超く
国スポ・陸スポ」への御寄附に対する感謝状の贈呈を行
いました。いただいた御寄附は選手育成のために活用させて
いただきます。

5 寄附金・協賛金等を活用した事業展開

(1) 寄附金について、次の事業に充當する。

- ・次世代アスリート発掘育成プロジェクト：充当額 200 万円
 - ・競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援）：充当額 100 万円
 - ・競技団体育成・強化対策事業（国スポ選手育成強化）：充当額 300 万円
 - ・スポーツ施設整備事業：充当額 2,060 万円

※修繕：関西みらいローイングセンター、県立柳ヶ崎ヨットハーバー

備品：OSP ホッケースタジアム

(2) 協賛金を活用して、大会広報を展開する。

- ・大会広報誌の発行：年2回、県内全戸に配布
 - ・屋外広告物設置による露出：駅装飾、街頭広告・大型看板の設置等
 - ・メディアミックスによるプロモーション